

第5回シティ・ロジスティクス世界会議

The 5th International Conference on City Logistics, 11 - 13 July 2007, Crete Island, Greece

萩野 保克*

By Yasukatsu HAGINO

1. はじめに

シティ・ロジスティクス国際会議 (International Conference on City Logistics) は、都市物流の調査、研究、政策に関する各国の研究者が集う国際学会として、1999年の第1回会議 (オーストラリア) から2年に1度開催されています。

本稿では、2007年7月に、ギリシャのクレタ島で開催された第5回会議の様相を紹介します。

2. 第5回会議の概要

第5回シティ・ロジスティクス国際会議は、2007年7月11日から13日の3日間で開催されました。

会場となった Knossos Royal Village Hotel は、エーゲ海を背景にしたリゾート地の美しいホテルであり、都市物流の研究者や行政担当者が、15カ国総勢49名参加して、活発な議論を行いました。

参加者の国は、北米、欧州、オーストラリアといった国々に加え、メキシコ、南アフリカといった日本ではなじみの薄い国からの参加者もありました。

メキシコの研究者の発表は、土地利用や大型貨物車利用から都市物流の課題を分析したもので、問題の所在は東京とは全く異なる地球の裏側で、我々と

同じような問題意識をもって研究が進められていることに驚きを感じました。

3. IBS からの論文

IBSからは、第4回東京都市圏物資流動調査のデータ解析に基づく論文を2編発表しました。

一つは、物流施設立地選択や大型貨物車の走行ルート選択のモデル化に関する論文であり、東京海洋大学兵藤哲朗教授と私の共同研究として発表しました。

もう一つは、端末物流施策の立案方法に関する論文であり、私と兵藤教授との連名で日本能率協会総合研究所の清水真人氏から発表されたものです。

会場からは、わが国における大型貨物車政策への関心、都市圏物資流動調査の内容や大規模調査の今後への質問、といった反応がありました。

4. おわりに

今回の世界会議は2009年に南アフリカで開催される予定となっています。

経済社会研究室では、東京都市圏物資流動調査の終了後も、物流に関する調査・研究を進めており、次回会議でも情報発信できれば幸いです。



図 会議会場となったクレタ島のホテル



図 端末物流に関する発表風景

*経済社会研究室